

平成30年度 第4学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	【課題】 ★段落相互の関係に注意して文章を書いたり、読んだりできるようになる。 ・段落の役割を理解し、段落相互の関係に注意して書いたり、読んだりできるようにする。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・段落に分けることの意味や利点を明確に指導した。 ・辞書を利用して意味や読みをクイズやゲーム活動を取り入れて調べた。 ☆日記や作文指導の共有化 ・友達の日記や作文を電子黒板で見せクラスで共有を図り、どこがよい点か直す点かを話し合わせ、分かりやすい文章作りを目指した。	A 指導目標の明確化と学習の見通し ・学習目標と学習活動を明確に示し、どの児童にも分かりやすくスモールステップで進める。学習活動では、個別指導やICTを活用する等、児童のつまづきを防ぐ。 E 相互の学び合い ・書いた文章を読み合ったり、感想を発表したりする活動をペアやグループ学習で行い、協働学習を進めながら理解できるように工夫する。
社会	【課題】 ★地域社会の活動を理解し、地域社会に貢献しようとする資質を高めていこうとする態度を身に付ける。 ・良好な生活環境や安全を守るための活動を深く追究しようとする態度を身に付け、実際の生活に生かす。 【工夫】 ☆教材の開発と工夫 ・身近な地域の題材を生かし、実感を伴った学習課題として指導した。 ・グループ学習では、本や資料を多数用意したことで、問題解決型の学習を行うことができた。	E 相互の学び合い ・話し合い活動を意味あるものにするための指導方法の工夫。(学習課題からぶれずにすすめていく) B 教材の開発と工夫 ・資料(データ)を自分達で作り、課題を解決していく。 ・資料の読み取り方や活用の仕方も合わせて指導することで、プレゼンテーション時の表現力を高めていく。
算数	【課題】 ★既習事項を活用して学習に生かしていく。 ・乗法や除法、加法及び減法の計算の仕方や図形の意味や関係等を正しく理解する。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・前時に学習した内容とどこが違うのかを毎時間注目させるなど既習事項との対比を意識して学習を進めた。	A 指導目標の明確化と学習の見通し ・学習の見通しを明確にする。随時、既習事項を想起させながら学習を進めて定着を図っていく。 C 個別支援が十分にできるように机間指導を強化する他、ヒントカードの用意など個に合った支援の充実を図っていく。
理科	【課題】 ★自然の事物・現象の変化に着目し、規則性や関係について科学的な見方や考え方を養えるようにする。 ・事象の変化を正しく把握でき、要因を追究しようとする。 【工夫】 ☆補助資料の活用 ・事物・現象の変化を正しく捉えられるようにワークシートを工夫した。	A 指導目標の明確化と学習の見通し ・導入において追究したくなるような実感を伴ったものにしていく。 D 補助資料の活用 ・電子黒板などの ICT などを有効に活用し、事象の変化をより視覚化し、共有できるようにしていく。
体育	【課題】 ★友達と交流をしながら、運動に取り組むようにする。 ・ペアやグループ内で友達と話し合いながら、技や力を高め合える活動ができるようにする。 【工夫】 ☆ウォーミングアップの充実によって、体力の向上を図る。 ・様々な運動ができる場を複数設けた、サーキットを行ったことで運動の意欲が高まった。 ☆相互の学び合い ・グループを等質グループ・異質グループなど目的に合わせて使い分けながら学び合いができるように工夫した。	E 相互の学び合い ・お手本を見せたり、ビデオを活用したりする等して、アドバイスを簡単に言える環境を作る。 ・教え合うためのグループのメンバーを考える。 F 評価 ・振り返りカードを使い、客観的にとらえられるようにする。 ・アドバイスの視点や動きのポイントを示すことで相互評価できるようにする。
道徳	【課題】 ★物事を多面的、多角的に考えたり、自己の生き方について考えを深めたりできるようにする。 【工夫】 ☆道徳的諸価値を実現しようとする自分とそうでない自分との葛藤から生じる問題を授業で取り上げ、話し合い活動の充実を図る。 ・児童の考えをしっかりとらせるために、ペアやグループになってお互いの意見や考えを言い合う活動をする。	E 相互の学び合い ・ペア学習やグループ学習を多く取り入れ、互いの意見を聞き合い、伝え合う活動をととして、相互理解を図る。 C 言葉の吟味 ・児童の自己肯定感を育てるため、友達の良いところを児童同士で見つけていき、伝え合う。教師も児童のよいところを称賛する。

